

## ～全校田植え～

5月26日に全校生徒305名による全校田植えが行われました。この取り組みは、農作物に感謝するとともに、生徒各自の1年が稔り多いものとなることを祈念して開催され今年で3年目になります。はじめに佐々木先生から田植えの方法を教わり、学年ごとにわかれて能代西高の圃場で田植えに挑戦しました。

農業に精通した2～3年生は慣れた手つきであっという間に植えていきました。初体験となる1年生はぬかるみに足を取られながらも、あきたこまちの苗を3～4本ずつ丁寧に植えていきました。また、午前中には圃場の一部を使って、能代西高とJA青年部北支部が協力し、向能代小学校の児童の田植え体験に参加しました。生徒達は児童に



↑小学校・JA青年部との連携



↑泥の感触を楽しみました

植え方をやさしく教え、一緒に植えていきました。参加した児童からは、「初めての体験だったけどとても楽しかったです」といった感想が聞かれました。

晴天のもと行われた全校田植え後は緑の絨毯が完成し、秋には全校生徒による稲刈りが予定されています。



←植え方を教える佐々木先生



↑童心に返って泥んこ田植え

## ～JA営農指導部との連携～



↑目的に合った除草剤を選択し使用しています

生物資源系列の作物栽培を担当している生徒6名は、JAと連携して能代西高の学校田に合った除草剤の研究をしています。

ノビエ・コナギなどの一年生雑草の生態や雑草防除法は圃場を観察して学び、特性の異なった4種類の除草剤を各圃場ごとに分けて使用しています。今後、作物栽培の生徒達は、除草剤散布や草刈り、追肥などを行い秋の刈取りに向けて生育管理を行っていきます。